

ART 症例登録システム改定版の 2022 年登録分からの運用開始のお知らせ

生殖補助医療施設 実施責任者
各位

平素 日本産科婦人科学会の ART 症例登録システムへの体外受精実施症例の登録にご協力ありがとうございます。

2022 年 1 月より ART 症例登録システムが改定されますので、ご案内申し上げます。

日本産科婦人科学会倫理委員会では、現行のシステムの利便性の向上を目指して、UMIN データベースの中に構築された ART 症例登録システムの改定の準備を進めてまいりました。昨今の ART 診療内容の変化、がん生殖医療の制度化といったことを踏まえた変更も行っております。この改定後のシステムは 2022 年分の症例登録から運用を開始する予定です。

改定後のシステムの内容について事前に各ご施設で確認をお願いいたします。

改定内容の概要については「システム改定の概要」（資料 1）を添付させていただきます。また、改定前画面と改定後画面のファイルを合わせて添付（資料 2）しておりますのでご参照ください。そして、実際の様子をご確認いただけるテスト用ページを用意しています。テスト用ページのアクセスについては添付の「テストページでの改定システムの確認方法」（資料 3）をご参照ください。

今回の改定版の作成に当たっては、現行の症例登録システムに対して ART 登録ご施設からこれまでいただいていたご意見を踏まえて、UMIN データサーバ管理者側と話し合いを行い進めてまいりました。しかし、UMIN データサーバの設計上の制約があり、いただいていたご要望の中には対応が困難な部分もあり現在の改定内容となっていることをご理解いただければと存じます。

また、2021 年分の症例データの入力完了し確定となる時期までは、改定後の登録画面上においては、入力項目の一部には 2021 年以前の症例に関する入力部分と 2022 年以降の症例に関する入力部分をシステム上同時に表示せざるを得ない形となっていることをご了承ください。そして、2021 年分の抄録データが確定された段階(2023 年 12 月末頃)では、今回の改定後の入力欄だけが表示される形に変更となることも併せてご理解ください。

2022 年 1 月からの運用開始に向けてのご施設内での準備をお進めいただきますよう、よろしくお願いいたします。

また、本改定に関するお問い合わせは、こちらの専用フォームをお願いいたします。

「ART 症例登録システム改定版に関する問い合わせ専用フォーム」

<https://pro.form-mailer.jp/fms/9d55a272237772>

2021 年 9 月吉日

日本産科婦人科学会

倫理委員会 委員長 三上 幹男

登録・調査小委員会 委員長 片桐由起子

ART 症例登録システム改定の概要

○変更点の概要

1. 入力に関する Q&A へのアクセス改善

表ページの「お困りの時」のページの記載を充実した。

登録・調査小委員会(<https://plaza.umin.ac.jp/~jsog-art/>)のページの中に入力で生じやすい疑問に答えるために従来から準備されている「症例報告 Q&A」へのリンクを設置した。
また、データ入力画面の「治療から妊娠まで」と「妊娠から出産まで」の両方のページのそれぞれの冒頭にも、「症例報告 Q&A」へのリンクを設置した。

2. 登録データの修正・更新の中の検索ページの検索機能の強化

表ページ（トップページ）から「登録データの修正・更新」に入って「臨床妊娠」例の検索を行った結果の画面の中に「妊娠の転帰」の欄を新たに設定した。

これは、「妊娠から出産まで」ページ（資料 2：4 枚目のページ）の「妊娠の転帰」の入力状況が出てくる。そのため、ART 施設側で分娩終了後の結果の入力が未入力のデータを抽出できるようになり、データ入力の不備の減少が期待できる。

3. 間違った年への入力を行った場合のデータ除外について

「治療から妊娠まで」のページの最後に、「登録除外」のチェック欄を作成した。

間違った年にデータ登録を行った場合の登録除外はこれまで、日産婦事務局に連絡を取って UMIN 側で随時行っていたがそのやり取りを行わず ART 施設側で除外するデータを示すことができるようにした。

4. ロジカルチェックの強化（添付資料 4 ロジカルチェック参照）

「治療から妊娠まで」と「妊娠から出産まで」のそれぞれのページのすべての項目について、明らかな間違いと考えられる数値が入った場合にエラーメッセージが出るように設定をした。

5. 産科合併症の入力方法の変更

もとのシステムでは産科合併症の内容が自由記載となっていたので、様々な言葉が記載されており、集計の際に困難を生じていた。改修後は主要な産科合併症を選択する方法として、それ以外はその他に自由入力とした。

6. 児の先天異常の入力方法について

改修前は先天異常の言葉の一覧表が掲載されており、その表から合致する名称を探して自由入力欄に記載する形となっていた。今回は該当する項目を選択してチェックする形式とした。該当項目がない場合には、それぞれの異常の部位に応じてその他の異常にチェックを入れる形とした。

7. 「治療から妊娠まで」と「妊娠から出産まで」のそれぞれの項目

昨今の ART 治療の方法の変化に対応することを目的として、多くの項目で選択項目の追加、削除、変更などを行った。項目により、従来単一選択としていた項目が複数選択となっている項目もある。

また、現在の「治療から妊娠まで」のページの「Assisted hatching」の項目は、改定後は削除となっている。そのため、本システムに変更となる 2022 年 1 月 1 日からは、2021 年分 2020 年分のデータの入力を行う場合にもその項目は不要となる。

なお、今回の項目の修正に際して、元のバージョンと項目の番号の対応関係が変わると過去データとの集計上の整合性が取れないという問題と、UMIN データベース上で入力年毎に入力フォーマットを変化させることができないという制約があることから、以下の形の変更としている。

1. 旧項目の削除や追加により選択肢の順番が大きく変わる場合

2021 年までのデータはこちらへという欄と、2022 年以降のデータはこちらへを同時に示している。2021 年までのデータはこちらへの欄については 2024 年の入力が始まる段階で消えて、改定後の 2022 年以降のデータはこちらへの欄だけが表示される形式となる予定。

2. 旧項目からの変更で元の選択肢の順番が変わらず、追加項目だけができる場合

旧項目に新たに項目が追加されただけの形としている。その場合、「その他」の位置が最後ではなく途中に出てくる形とならざるを得ない形となっている。（これは以前のバージョンでも同様のことが生じていた）

○今回の変更でいただいていた要望に対して対応できなかったこと

1. その他の項目など自由入力の部分を入力した時点でその前の項目ボタンのチェックが自動にオンとなるように設定すること。

これは、UMIN のシステム上難しいとのことであった。

2. 多数の症例データの一括アップロード

以上

ART / 2022年個別調査票（治療から妊娠まで）

Authority Administrator UMIN ID k-yoshizawa 施設名 日本産科婦人科学会事務局

メニュー画面へ戻る

この色の項目は、空欄では登録が完了しません。【必須入力】

症例入力についてよく生じる疑問への回答については以下のサイトの症例報告Q&Aのタブの中に記載されています。

[登録・調査小委員会\(https://plaza.umin.ac.jp/~jsog-art/\)](https://plaza.umin.ac.jp/~jsog-art/)

2022 年データ

999999 日本産科婦人科学会事務局

1	患者識別No. (必須)	※貴施設の患者識別番号のみ入力してください <特定不妊治療費助成制度を利用した自治体の都道府県名等の入力箇所は【2.特定不妊治療費助成制度の利用】に移しました>
2	特定不妊治療費助成制度の利用 (必須)	☐ 1利用 ※制度を利用した自治体を選択してください ☐ 2利用せず ☐ 3保留
3	治療周期開始時の妻の満年齢 (必須)	歳
4	治療周期開始時の夫の満年齢 (必須)	歳 ☐ 不明
5	治療周期開始時の妻の身長、体重 (必須)	身長 cm 体重 kg ☐ 両方不明
6	治療周期開始時の妻の妊娠・分娩歴 (必須)	妊娠 回 分娩 回 ☐ 両方不明
7	適応 (必須)	<複数選択可> ☐ 1卵管因子 ☐ 2子宮内膜症 ☐ 3抗精子抗体陽性 ☐ 4男性因子 ☐ 5原因不明 ☐ 6その他 () ☐ 7医学的適応 (がん) ☐ 8医学的適応 (がん以外) ☐ 9排卵障害・PCOS ☐ 10卵巣予備能低下 ☐ 11高齢

8	卵巣刺激法または周期管理法 (融解周期の管理方法)	2021年登録までは、こちらを入力をお願いします ☐ 1自然 ☐ 2CC ☐ 3CC + hMG or FSH ☐ 4hMG or FSH ☐ 5GnRHagonist + hMG or FSH ☐ 6GnRHantagonist + hMG or FSH ☐ 7その他 () ☐ 8人工周期 (ホルモン補充周期、E + P周期) clear
	卵巣刺激に使用した薬剤	2022年登録よりこちらに入力してください <複数選択可> ☐ 1自然 ☐ 2クロミフェン ☐ 3レトロソール ☐ 4ゴナドトロピン製剤(FSH/hMG) ☐ 5GnRHアンタゴニスト ☐ 6GnRHアゴニスト ☐ 7卵胞ホルモン ☐ 8黄体ホルモン ☐ 9その他 ()
9	卵子成熟誘起法	<複数選択可> ☐ 1hCG ☐ 2GnRHアゴニスト ☐ 3なし
10	採卵法 (必須)	☐ 1採卵 (融解) に至らず ☐ 2超音波ガイド下 ☐ 3腹腔鏡下 ☐ 4凍結保存胚・卵の融解 ☐ 5その他 ()
11	治療に用いた、あるいは 用いようとした卵・胚の種類 (必須)	☐ 1新鮮卵・胚 ☐ 2融解胚 ☐ 3融解未受精卵子 ※ [2 融解胚] [3 融解未受精卵子] を選択したときは「採卵時の症例登録番号」を入力してください。 採卵時の症例登録番号 ()
12	行った、あるいは 行おうとした治療方法 (必須)	2021年登録までは、こちらを入力をお願いします ☐ 1IVF-ET ☐ 2GIFT ☐ 3顕微授精 ☐ 4IVF-ET + 顕微授精 ☐ 5融解胚 ☐ 6その他 () ☐ 7未受精卵子凍結 (医学的適応) clear 2022年登録よりこちらに入力してください ☐ 1IVF ☐ 2顕微授精 ☐ 3IVF + 顕微授精 ☐ 4未受精卵子凍結 (受精させない周期) ☐ 5凍結胚 (凍結卵) を融解する周期 ☐ 6その他 () clear
13	精子回収法	<複数選択可> ☐ 1射出精子 ☐ 2Testicular sperm extraction (TESE) ☐ 3その他 () ☐ 4凍結精子
14	精液所見	※ 【精子回収法】で [1 射出精子] を選択した場合のみ入力してください。 精子濃度 $\times 10^6/\text{ml}$ (小数点以下第2位まで) 運動精子率 % (整数)

以下の2項目は、【治療に用いた、あるいは用いようとした卵・胚の種類】で【1 新鮮卵・胚】を選択した場合に入力が必要です

15	採卵数	(整数)
16	受精卵数	(整数)
以下の1項目は、【治療に用いた、あるいは用いようとした卵・胚の種類】で【2 融解胚】を選択した場合に入力が必要です		
17	融解胚数	(整数)
以下の2項目は、【治療に用いた、あるいは用いようとした卵・胚の種類】で【3 融解未受精卵子】を選択した場合に入力が必要です		
18	融解卵数	(整数)
19	受精卵数	(整数)
以下の6項目は、【治療に用いた、あるいは用いようとした卵・胚の種類】で【1 新鮮卵・胚】【2 融解胚】【3 融解未受精卵子】を選択した場合に入力が必要です ただし、【胚移植時の発育段階】で【4 ETキャンセル】を選択した場合は【融解胚・卵数】【副作用の有無】のみ入力してください		
20	胚移植時の発育段階	☐ 1卵 (未受精) ☐ 2初期胚 ☐ 3胚胚 ☐ 4ETキャンセル ☐ 5その他 () clear
21	移植胚・卵数	(整数)
22	凍結胚・卵数	(整数)
23	黄体期管理	2021年登録までは、こちらを入力をお願いします <複数選択可> ☐ 1なし ☐ 2プロゲステロン (P) ☐ 3hCG ☐ 4hCG + P ☐ 5エストロゲン + P ☐ 6その他 () 2022年登録よりこちらに入力してください <複数選択可> ☐ 1なし ☐ 2黄体ホルモン ☐ 3hCG ☐ 4卵胞ホルモン ☐ 5その他 () clear
24	副作用の有無	<複数選択可> ☐ 1なし ☐ 2出血 ☐ 3感染 ☐ 4OHSS (2度以上) ☐ 5その他 ()
25	妊娠の有無	☐ 1なし ☐ 2臨床妊娠 (GS(+))以上 (移植日 : 西暦 / /) ※【2 臨床妊娠】を選択した場合は、登録完了画面から個別調査票「妊娠から出産後まで」の入力画面に進んでください。 ☐ 3妊娠保留 ※まだ妊娠の判定が未確認の場合に選択してください。妊娠の有無が判定後【1 なし】or【2 臨床妊娠】を選択し直してください。 clear

26	登録除外	登録年の間違いなど何らかの入力の間違いのために登録対象から除外する場合にはこちらを選択してください。 ☐ このページの内容を登録対象から除外
----	------	--

次へ進む

ART / 2022年個別調査票（妊娠から出産後まで）

Authority Administrator UMIN ID k-yoshizawa 施設名 日本産科婦人科学会事務局

メニュー画面へ戻る

この色の項目は、空欄では登録が完了しません。【必須入力】

症例入力についてよく生じる疑問への回答については以下のサイトの症例報告Q&Aのタブの中に記載されています。

[登録・調査小委員会\(https://plaza.umin.ac.jp/~jsog-art/\)](https://plaza.umin.ac.jp/~jsog-art/)

2022 年データ

999999 日本産科婦人科学会事務局

患者識別No.	555
治療期間開始時の満年齢	35歳
妊娠の有無	●2 臨床妊娠（GS(+)以上）（移植日：2021/03/12）
27 GSの数（必須）	☐ 1あり （整数） ☐ 2不明 clear
28 確認された胎児数（必須）	☐ 1あり （整数） ☐ 2不明 clear
29 妊娠の転帰（必須）	<複数選択可> ☐ 1流産（22週未満） ☐ 2異所性妊娠 ☐ 3異正所同時妊娠（内外同時妊娠） ☐ 4人工妊娠中絶（理由) ☐ 5生産 ☐ 6死産 ☐ 7減胎手術（ 個から 個に減数）（整数） ☐ 8不明 ☐ 9胞状奇胎 clear
※以下の【出産児数】【分娩様式】【産科合併症】の入力は、【妊娠の転帰】で【5 生産】【6 死産】を選択した場合入力が必要です。	
30 出産児数	☐ 1あり 人（整数）（出産日：西暦 / /) ☐ 2不明 clear
31 分娩様式	☐ 1経膣 ☐ 2帝王切 ☐ 3経膣と帝王切（多胎の場合） ☐ 4不明 clear

32 産科合併症	☐ 1なし ☐ 2あり ありの場合⇒ ☐ 3不明 clear	<複数選択可> ☐ 早産 ☐ 妊娠高血圧症候群（HELLP症候群、子癇を含む） ☐ 妊娠糖尿病 ☐ 胎児発育不全 ☐ 前置胎盤・低置胎盤 ☐ 癒着胎盤 ☐ 常位胎盤早期剥離 ☐ その他 ()
----------	---	--

33.児の所見（注：出産児数に相当する数の児の所見を記入してください）									
	性別	出生児の 在胎週数	出生時の体重	児の状況			生後、児の予後		
				生産 死産	一卵性 多胎	先天異常	7日未満	28日未満	死亡年月日
1 clear	☐ 1男 ☐ 2女 ☐ 3不明	☐ 1 週 ☐ 2 不明	☐ 1 g ☐ 2 不明	☐ 1生産 ☐ 2死産 ☐ 3不明	☐ 1Yes ☐ 2No ☐ 3不明	☐ 1あり ☐ 2なし ☐ 3不明	☐ 1生存 ☐ 2死亡 ☐ 3不明	☐ 1生存 ☐ 2死亡 ☐ 3不明	西暦 / / ☐
2 clear	☐ 1男 ☐ 2女 ☐ 3不明	☐ 1 週 ☐ 2 不明	☐ 1 g ☐ 2 不明	☐ 1生産 ☐ 2死産 ☐ 3不明	☐ 1Yes ☐ 2No ☐ 3不明	☐ 1あり ☐ 2なし ☐ 3不明	☐ 1生存 ☐ 2死亡 ☐ 3不明	☐ 1生存 ☐ 2死亡 ☐ 3不明	西暦 / / ☐
3 clear	☐ 1男 ☐ 2女 ☐ 3不明	☐ 1 週 ☐ 2 不明	☐ 1 g ☐ 2 不明	☐ 1生産 ☐ 2死産 ☐ 3不明	☐ 1Yes ☐ 2No ☐ 3不明	☐ 1あり ☐ 2なし ☐ 3不明	☐ 1生存 ☐ 2死亡 ☐ 3不明	☐ 1生存 ☐ 2死亡 ☐ 3不明	西暦 / / ☐
4 clear	☐ 1男 ☐ 2女 ☐ 3不明	☐ 1 週 ☐ 2 不明	☐ 1 g ☐ 2 不明	☐ 1生産 ☐ 2死産 ☐ 3不明	☐ 1Yes ☐ 2No ☐ 3不明	☐ 1あり ☐ 2なし ☐ 3不明	☐ 1生存 ☐ 2死亡 ☐ 3不明	☐ 1生存 ☐ 2死亡 ☐ 3不明	西暦 / / ☐

※先天異常で「あり」を選択した場合は下記の表から該当するものを選択する（複数選択可）。
 複数の児に先天異常がある場合は合わせて全て選択してください。

1.脳・神経	☐ 無脳症 ☐ 脳瘤 ☐ 小頭症 ☐ 先天性水頭症 ☐ 脳梁の先天奇形 ☐ 全前脳(胞)症 ☐ 先天性脳嚢胞 ☐ 二分脊髄 ☐ アーノルド・キアリ症候群 ☐ 神経系のその他の先天奇形
2.眼、耳、顔面及び頸部	☐ 先天(性)眼瞼下垂 ☐ 無眼球症 ☐ 小眼球症 ☐ 先天性白内障 ☐ 先天性耳介欠損 ☐ 外耳道の先天(性)欠損、閉鎖及び狭窄 ☐ 副耳(介) ☐ 小耳症 ☐ 先天性耳瘻孔と先天性嚢胞 ☐ 眼、耳、顔面及び頸部のその他の先天奇形

3.心臓・循環器	☐ 総動脈幹症 ☐ 両大血管右室起始症 ☐ 完全大血管転位症 ☐ 単心室症 ☐ 心室中隔欠損症 ☐ 心房中隔欠損症 ☐ 房室中隔欠損症 ☐ ファロー四徴症 ☐ 肺動脈弁閉鎖症 ☐ 肺動脈弁狭窄症 ☐ 肺動脈弁閉鎖不全症 ☐ 三尖弁狭窄症 ☐ エプスタイン奇形 ☐ 右心低形成症候群 ☐ 大動脈弁狭窄症 ☐ 大動脈弁閉鎖不全症 ☐ 僧帽弁狭窄症 ☐ 僧帽弁閉鎖不全症 ☐ 左心低形成症候群 ☐ 右胸心 ☐ 先天性心ブロック ☐ 動脈管開存症 ☐ 大動脈縮窄症 ☐ 大動脈弁閉鎖症 ☐ 肺動脈閉鎖症 ☐ 肺動脈狭窄症 ☐ 左上大静脈遺残 ☐ 総肺静脈還流異常症 ☐ 部分肺静脈還流異常症 ☐ 脳血管の動静脈奇形 ☐ 脳実質外血管の動静脈奇形 ☐ 循環器系のその他の先天奇形
4.呼吸器	☐ 鼻の先天奇形 ☐ 喉頭の先天奇形 ☐ 先天性嚢胞肺 ☐ 肺分画症 ☐ 呼吸器系のその他の先天奇形
5.口唇・口蓋	☐ 口蓋裂 ☐ 口唇裂(一側性) ☐ 口唇裂(両側性) ☐ 口唇裂(正中部) ☐ 口唇口蓋裂(一側性) ☐ 口唇口蓋裂(両側性) ☐ 口唇口蓋裂(正中部)
6.消化器 (口腔、食道、胃腸、肛門、痔瘻)	☐ 舌小帯短縮症 ☐ 巨(大)舌症 ☐ 食道閉鎖(瘻あり) ☐ 食道閉鎖(瘻なし) ☐ 先天性肥厚性幽門狭窄 ☐ 先天性食道裂孔ヘルニア ☐ 十二指腸の先天欠損、閉鎖及び狭窄 ☐ 小腸の先天欠損、閉鎖及び狭窄(空腸) ☐ 小腸の先天欠損、閉鎖及び狭窄(回腸) ☐ 肛門の先天欠損、閉鎖及び狭窄、瘻を伴うもの(瘻あり) ☐ 肛門の先天欠損、閉鎖及び狭窄、瘻を伴うもの(瘻なし) ☐ メッケル憩室 ☐ ヒルシュスプルング病 ☐ 腸回転異常及び総腸間膜症 ☐ 重複腸(管) ☐ 総排泄腔遺残 ☐ 輪状痔 ☐ 先天性痔瘻 ☐ 消化器系のその他の先天奇形
7.生殖器	☐ 先天性卵巣嚢胞 ☐ 先天性直腸嚢瘻 ☐ 女性性器のその他の先天奇形 ☐ 停留辜丸(一側性) ☐ 停留辜丸(両側性) ☐ 尿道下裂 ☐ 男性生殖器のその他の先天奇形 ☐ 性不確定
8.腎尿路	☐ 腎無発生 ☐ 腎低形成 ☐ ボッター症候群 ☐ 先天性単一腎嚢胞 ☐ 多発性嚢胞腎 ☐ 腎異形成 ☐ 先天性水腎症 ☐ 分葉腎、融合腎及び馬蹄腎 ☐ 先天性巨大尿管(症) ☐ 重複尿管 ☐ 膀胱外反(症) ☐ 尿道上裂 ☐ 先天性後部尿道弁 ☐ 腎尿路系のその他の先天奇形
9.筋骨格・横隔膜・四肢	☐ 頭蓋骨(早期)癒合症 ☐ 骨系統疾患、長骨骨及び脊椎の成長障害を伴うもの ☐ 先天性股関節脱臼 ☐ 内反足 ☐ 多指症 ☐ 多趾症 ☐ 合指(趾)症 ☐ 多合指(趾)症 ☐ 先天性横隔膜ヘルニア ☐ 膈帯ヘルニア ☐ 腹壁破裂 ☐ プルンベリー症候群 ☐ 筋骨格系のその他の先天奇形
10.皮膚	☐ 結節性硬化症 ☐ 神経線維腫症(非悪性) ☐ 皮膚のその他の先天奇形
11.その他	☐ マルファン症候群 ☐ 内臓逆位 ☐ 結合双体 ☐ 多系統に及ぶ先天奇形症候群 ☐ ダウン症候群 ☐ 18トリソミー ☐ 13トリソミー ☐ ターナー症候群 ☐ クラインフェルター症候群 ☐ その他の染色体異常

ART

/登録データ検索

UMIN ID

施設名

メニュー画面へ戻る

●特に条件を指定しない場合は、同一施設内で現在登録されている症例が全て表示されます。

●条件とする項目を指定し、**【検索する】**をクリックしてください。

●臨床妊娠が確認された後、最終的な妊娠・分娩転帰について一時的に入力が保留となっている症例については、**【妊娠の有無】**で**「2臨床妊娠」の症例を検索し**、**「妊娠から出産後」**までのページの欄の**【妊娠の転帰】**が未記載もしくは**「8不明」**となっていることで確認できます。

検索対象	条件	備考
治療開始年	2020	必ず指定してください。
症例登録番号		部分一致 全8桁からなる文字列です 全角と半角を区別します
患者識別No.		部分一致
治療方法	～2021年	○1 ○2 ○3 ○4 ○5 ○6 ○7 1.IVF-ET 2.GIFT 3.顕微授精 4.IVF-ET+顕微授精 5.融解胚 6.その他 7.未受精卵子凍結（医学的適応）
	2022年～	○1 ○2 ○3 ○4 ○5 ○6 1.IVF 2.顕微授精 3.IVF+顕微授精 4.未受精卵子凍結（受精させない周期） 5.凍結胚（凍結卵）を融解する周期 6.その他
妊娠の有無	○1 ○2 ○3	1.なし 2.臨床妊娠 3.妊娠保留
施設	東京大学	自身が所属する施設のみ
オプション		
ページ分割	100件毎表示	1画面に表示する件数を指定

条件クリア 検索する

改定後 登録データ検索結果表示ページ

ART

/登録データ検索（結果）

UMIN ID:

/施設名:

メニュー画面へ戻る

●登録データの修正・更新を行う場合は、対象症例の**【個別調査】**のリンクをクリックしてください。（表示されている日付は**最終更新日**です。）

●画面下の**【表示した症例のデータをCSV形式でダウンロードする】**をクリックすると、現在画面上に表示されている症例の全登録データを、CSV形式でダウンロードできます。

●**【妊娠の有無】**で**「1なし」**または**「3妊娠保留」**を選択した場合は、**「妊娠から出産後まで」**画面には**リンクできません**。

●**【妊娠の転帰】**で一時的に未記載もしくは**「8不明」**としている症例は**最終的な妊娠・分娩転帰が確認されたら最終的な記載内容の入力をお願いします**。

情報取得日: 2021/09/04 23:07:19

<検索条件>
治療開始年: 2022 |

参加施設数	現在までのART登録データ総数	検索結果
834	42 件	2 件

並び替えの基準項目 症例登録番号 順序整理

症例登録番号	患者識別No.	年	個別調査				満年齢	治療方法 スコア確認	妊娠の有無 スコア確認	妊娠の転帰 スコア確認				
			治療から妊娠まで		妊娠から出産後まで									
			入力状況	新規登録日 最終更新日	入力状況	新規登録日 最終更新日								
1	E1790665	555	2022	入力済	2021/06/07	未入力	---	35	---	4	2	---		
2	E1790676	555	2022	入力済	2021/08/28	入力済	2021/08/28	35	---	2	2	5		

表示した症例のデータをCSV形式でダウンロードする

メニュー画面へ戻る 再検索を行う

<2017-71 別紙「登録項目」>

オンライン個別調査票「治療から妊娠まで」

患者識別No. (必須)	[]
特定不妊治療費 助成制度の利用 (必須)	1利用 制度を利用した自治体 [] 2利用せず 3保留
治療周期開始時の妻の 満年齢 (必須)	[] 歳
治療周期開始時の夫の 満年齢	[] 歳
治療周期開始時の妻の 身長、体重	身長 [] cm 体重 [] kg
治療周期開始時の妻の 妊娠・分娩歴	妊娠 [] 回 分娩 [] 回
適応 (必須)	1卵管因子 2子宮内膜症 3抗精子抗体陽性 4男性因子 5原因不明 6その他 [] 7未受精卵子凍結 (医学的適応)
卵巣刺激法または 周期管理法 (融解周期の管理方法)	1自然 2CC 3CC + hMG or FSH 4hMG or FSH 5GnRHagonist + hMG or FSH 6GnRHantagonist + hMG or FSH 7その他 [] 8人工周期 (ホルモン補充周期、E + P周期)
採卵法 (必須)	1採卵 (融解) に至らず 2経膈超音波 3腹腔鏡 4凍結保存胚・卵の融解 5その他 []
治療に用いた、 あるいは用いようとした 卵・胚の種類 (必須)	1新鮮卵・胚 2凍結胚 3凍結卵 ※ [2 凍結胚] を選択したときは「採卵時の症例登録番号を入力してください。 採卵時の症例登録番号 []
行った、あるいは行おう とした治療方法 (必須)	1IVF-ET 2GIFT 3顕微授精 4IVF-ET + 顕微授精 5融解胚 6その他 [] 7未受精卵子凍結 (医学的適応)
精子回収法	1射出精子 2Testicular sperm extraction (TESE) 3その他 []
精液所見	※【精子回収法】で [1 射出精子] を選択した場合のみ入力してください。 精子濃度 [] ×10 ⁶ /ml (小数点以下第2位まで) 運動精子率 [] % (整数)
--- 以下の2項目は、【治療に用いた、あるいは用いようとした卵・胚の種類】で [1新鮮卵・胚] を選択した場合に入力が必要です ---	
採卵数	[] (整数)
受精卵数	[] (整数)
--- 以下の1項目は、【治療に用いた、あるいは用いようとした卵・胚の種類】で [2凍結胚] を選択した場合に入力が必要です ---	
融解胚数	[] (整数)
--- 以下の2項目は、【治療に用いた、あるいは用いようとした卵・胚の種類】で [3 凍結卵] を選択した場合に入力が必要です ---	
融解卵数	[] (整数)
受精卵数	[] (整数)
--- 以下の7項目は、【治療に用いた、あるいは用いようとした卵・胚の種類】で [1新鮮卵・胚] [2凍結胚] [3凍結卵] を選択した場合に入力が必要です ---	
胚移植時の発育段階	1卵 (未受精) 2初期胚 3胞胚 4ETキャンセル 5その他 []
移植胚・卵数	[] (整数)
凍結胚・卵数	[] (整数)
Assisted hatching	1施行 2非施行
黄体期管理	1なし 2プロゲステロン(P) 3hCG 4hCG + P 5エストロゲン + P 6その他 []
副作用の有無	1なし 2出血 3感染 4OHSS (2度以上) 5その他 []
妊娠の有無	1なし 2臨床妊娠 (GS(+))以上 (移植日 : 西暦[]/[]/[])) ※「2 臨床妊娠」を選択した場合は、登録完了画面から個別調査票『妊娠から出産後まで』の入力画面に進んでください。 3妊娠保留 ※ まだ妊娠の判定が未確認の場合に選択してください。妊娠の有無が判定後「1なし」or「2臨床妊娠」を選択し直してください。

オンライン個別調査票「妊娠から出産後まで」

GSの数（必須）	1 [] （整数） 2不明
確認された胎児数（必須）	1 [] （整数） 2不明
妊娠の転帰（必須）	1流産（22週未満） 2異所性妊娠 3正所異所同時妊娠（子宮内外同時妊娠） 4人工妊娠中絶（理由 [] ） 5生産 6 死産 7減胎手術（ [] 個から [] 個に減数）（整数） 8不明
出産児数	※【妊娠の転帰】で [5 生産] [6 死産] を選択した場合に入力が必要です。 1 [] 人（整数）（出産日：西暦 [] / [] / [] ） 2不明
分娩様式	1経膣 2帝切 3経膣および帝切 4不明
産科合併症	1なし 2あり 3不明 []

児の所見									
	性別	出生児の 在胎週数	出生時の 体重	児の状況			生後、児の予後		
				生産 死産	一卵性 多胎	先天異常名	7日 未満	28日 未満	死亡月日 （西暦）
1	1男 2女 3不明	1 [] 週 2不明	1 [] g 2不明	1生産 2死産 3不明	1Yes 2No 3不明	[]	1生存 2死亡 3不明	1生存 2死亡 3不明	[]
2	1男 2女 3不明	1 [] 週 2不明	1 [] g 2不明	1生産 2死産 3不明	1Yes 2No 3不明	[]	1生存 2死亡 3不明	1生存 2死亡 3不明	[]
3	1男 2女 3不明	1 [] 週 2不明	1 [] g 2不明	1生産 2死産 3不明	1Yes 2No 3不明	[]	1生存 2死亡 3不明	1生存 2死亡 3不明	[]
4	1男 2女 3不明	1 [] 週 2不明	1 [] g 2不明	1生産 2死産 3不明	1Yes 2No 3不明	[]	1生存 2死亡 3不明	1生存 2死亡 3不明	[]

テストページでの改定システムのご確認方法

1. Web ブラウザ上で、下記のテスト系ページにアクセスする

<https://c.umin.ac.jp/idctest/list>

2. システムログインのための ID およびパスワードが求められたら、いつものご施設での ART 症例登録システムへのログインと同じ ID、パスワードを入力する

3. テスト系システム内で入力や検索を行う

テスト系ページで入力されたものは、現行利用している症例登録システムには入りませんので、自由に入力して改定システムの内容をご確認ください。

ART症例登録 入力項目ロジカルチェック一覧

治療から妊娠までのページ

入力項目番号	大項目名	大項目内の入力細項目	入力の必須or空欄可	入力可能な文字種	入力可能数値の範囲
1	患者識別No.		必須	半角英数字、ハイフン、アンダーバー	20文字まで
2	特定不妊治療費助成制度の利用	1-3の項目選択 制度を利用した自治体	必須 1利用を選択した場合に自治体選択を必須	プルダウンで選択	1-3の項目選択 プルダウンで選択された自治体名
3	治療周期開始時の妻の満年齢		必須	半角数字	整数 15～60
4	治療周期開始時の夫の満年齢		必須	半角数字	整数 15～60
5	治療周期開始時の妻の身長、体重	身長 体重	空欄可 空欄可	半角数字 半角数字	整数 100～250 整数 30～250
6	治療周期開始時の妻の妊娠・分娩歴	妊娠回数 分娩回数	空欄可 空欄可	半角数字 半角数字	整数 0～40 整数 0～20
7	適応	1-11の項目選択 6その他の自由記載欄	必須 複数選択可 6その他を選択した場合に入力必須	文字種制限なし	1-11の項目選択 複数選択可 10文字まで
8	2021年登録まで 卵巣刺激法または周期管理法(融解周期の管理方法)	1-8の項目選択 7その他の自由記載欄	空欄可 7その他を選択した場合に入力必須	文字種制限なし	1-8の項目選択 10文字まで
8	2022年登録より 卵巣刺激法または周期管理法(融解周期の管理方法)	1-9の項目選択 9その他の自由記載欄	空欄可 複数選択可 9その他を選択した場合に入力必須	文字種制限なし	1-9の項目選択 複数選択可 10文字まで
9	卵子成熟誘起法	1-2の項目選択	空欄可 複数選択可		1-2の項目選択 複数選択可
10	採卵法	1-5の項目選択 5その他の自由記載欄	必須 5その他を選択した場合に入力必須	文字種制限なし	1-5の項目選択 10文字まで
11	治療に用いた、あるいは用いようとした卵・胚の種類	1-3の項目選択 採卵時の症例登録番号	必須 2凍結胚もしくは3凍結卵を選択したときは必須	半角英数字	1-3の項目選択 1桁目は半角英字、2-7桁目は半角数字の合計7桁の英数字番号
12	2021年登録まで 行った、あるいは行おうとした治療方法	1-7の項目選択 5その他の自由記載欄	必須 5その他を選択した場合に入力必須	文字種制限なし	1-7の項目選択 10文字まで
12	2022年登録より 行った、あるいは行おうとした治療方法	1-7の項目選択 5その他の自由記載欄	必須 5その他を選択した場合に入力必須	文字種制限なし	1-7の項目選択 10文字まで
13	精子回収法	1-4の項目選択 3その他の自由記載欄	空欄可 複数選択可 3その他を選択した場合に入力必須	文字種制限なし	1-4の項目選択 複数選択可 10文字まで
14	精液所見	精子濃度	精子回収法で1射出精子を選択した場合でも空欄可とする	半角数字、半角ピリオド(小数点)	0以上、999999.99以下の小数、小数点第2位まで
		運動精子率	精子回収法で1射出精子を選択した場合でも空欄可とする	半角数字	0以上、100以下の整数
15	採卵数		【治療に用いた、あるいは用いようとした卵・胚の種類】で【1 新鮮卵・胚】を選択した場合に入力必須	半角数字	0以上、99以下の整数
16	受精卵数		【治療に用いた、あるいは用いようとした卵・胚の種類】で【1 新鮮卵・胚】を選択した場合に入力必須	半角数字	0以上、99以下の整数
17	融解胚数		【治療に用いた、あるいは用いようとした卵・胚の種類】で【2凍結胚】を選択した場合に入力必須	半角数字	0以上、99以下の整数
18	融解卵数		【治療に用いた、あるいは用いようとした卵・胚の種類】で【3凍結卵】を選択した場合に入力必須	半角数字	0以上、99以下の整数
19	受精卵数		【治療に用いた、あるいは用いようとした卵・胚の種類】で【3凍結卵】を選択した場合に入力必須	半角数字	0以上、99以下の整数
20	胚移植時の発育段階	1-5の項目選択 5その他の自由記載欄	【治療に用いた、あるいは用いようとした卵・胚の種類】で【1 新鮮卵・胚】[2凍結胚][3凍結卵]を選択した場合に入力 5その他を選択した場合に入力必須	文字種制限なし	1-5の項目選択 10文字まで
21	移植胚・卵数		【治療に用いた、あるいは用いようとした卵・胚の種類】で【1 新鮮卵・胚】[2凍結胚][3凍結卵]を選択した場合に入力 ただし、【胚移植時の発育段階】でETキャンセルの場合	半角数字	0以上、9以下の整数
22	凍結胚・卵数		【治療に用いた、あるいは用いようとした卵・胚の種類】で【1 新鮮卵・胚】[2凍結胚][3凍結卵]を選択した場合に入力	半角数字	0以上、99以下の整数
23	黄体期管理	1-6の項目選択 6その他の自由記載欄	【治療に用いた、あるいは用いようとした卵・胚の種類】で【1 新鮮卵・胚】[2凍結胚][3凍結卵]を選択した場合に入力 ただし、【胚移植時の発育段階】でETキャンセルの場合 6その他を選択した場合に入力必須	文字種制限なし	1-6の項目選択 10文字まで

ART症例登録 入力項目ロジカルチェック一覧

治療から妊娠までのページ

入力項目番号	大項目名	大項目内の入力細項目	入力の必須or空欄可	入力可能な文字種	入力可能数値の範囲
24	副作用の有無	1ー5の項目選択	【治療に用いた、あるいは用いようとした卵・胚の種類】で [1 新鮮卵・胚][2 凍結胚][3 凍結卵] を選択した場合に入力 複数		1ー5の項目選択 複数選択可
		5その他の自由記載欄	5その他を選択した場合に入力必須	文字種制限なし	10文字まで
25	妊娠の有無	1-3の項目選択	【治療に用いた、あるいは用いようとした卵・胚の種類】で [1 新鮮卵・胚][2 凍結胚][3 凍結卵] を選択した場合に入力 ただし、【胚移植時の発育段階】でETキャンセルの場合		1ー3の項目選択
		2臨床妊娠の移植日	2臨床妊娠を選択した場合に入力必須	[年]は4桁の半角数字 [月][日]はそれぞれでプルダウン選択	[年]は1950～2100の整数、年の数字は登録しようとしている年と一致している必要がある [月][日]はそれぞれでプルダウンで選択された数字
26	登録除外		空欄可		

ART症例登録 入力項目ロジカルチェック一覧
妊娠から出産までのページ

入力項目番号	大項目名	大項目内の入力細項目	入力の必須or空欄可	入力可能な文字種	入力可能数値の範囲
27	GSの数	1-2の項目選択	必須		1-2の項目選択
		1ありの数値入力	1ありを選択した場合に入力必須	半角数字	0以上、9以下の整数
28	確認された胎児数	1-2の項目選択	必須		1-2の項目選択
		1ありの数値入力	1ありを選択した場合に入力必須	半角数字	0以上、9以下の整数
29	妊娠の転帰	1-9の項目選択	必須 複数選択可		1-9の項目選択 複数選択可
		4人工妊娠中絶の理由欄	4人工妊娠中絶を選んだ場合でも空欄可	文字種制限なし	10文字まで
		7減胎手術の減数記入欄	7減胎手術を選んだ場合でも空欄可	2か所の入力欄でいずれも、半角数字	2か所の入力欄でいずれも、0以上、9以下の整数
30	出産児数	1-2の項目選択	【妊娠の転帰】で【5 生産】もしくは【6 死産】を選択した場合に入力が必須		1-2の項目選択
		1ありの人数入力	1ありを選択した場合に入力必須	半角数字	0以上、9以下の整数
			1ありを選択した場合でも空欄可	【年】は半角数字【月】.【日】はそれぞれでプルダウン選択	【年】は4桁の1950～2100の整数、年の数字は登録しようとしている年とその翌年のいずれかと一致している必要がある【月】.【日】はそれぞれでプルダウンで選択された数字
31	分娩様式	1-4の項目選択	必須		1-4の項目選択
		1-3の項目選択	必須		1-3の項目選択
32	産科合併症	2ありの場合の項目選択	2ありを選択した場合に入力必須 複数選択可	半角数字	選択枝から複数選択可
		2ありの場合のその他の自由記載欄	2ありを選択してその他を選択した場合に入力必須	文字種制限なし	10文字まで
33	児の所見(1児から4児までのそれぞれについて)	性別:1-3の項目選択	空欄可		1-3の項目選択
		出生児の在胎週数:1-2の項目選択	空欄可		1-2の項目選択
		出生児の在胎週数:1-2の項目選択	在胎週数で1を選択したら入力必須	半角数字	10以上、45以下の整数
		出生児の在胎週数:1-2の項目選択	空欄可		1-2の項目選択
		出生児の在胎週数:1-2の項目選択	出生時の体重で1を選択したら入力必須	半角数字	10以上、9999以下の整数
		出生児の体重:1の体重g記載欄	空欄可		1-3の項目選択
		児の状況の生産死産:1-3の項目選択	空欄可		1-3の項目選択
		児の状況の一胎性多胎:1-3の項目選択	空欄可		1-3の項目選択
		児の状況の先天異常の臓器:1-3の項目選択	空欄可		1-3の項目選択
		生後、児の予後 7日未満:1-3の項目選択	空欄可		1-3の項目選択
		生後、児の予後 28日未満:1-3の項目選択	空欄可		1-3の項目選択
		死亡月日	空欄可	【年】は4桁の半角数字、【月】.【日】はそれぞれでプルダウン選択	【年】は4桁の1950～2100の整数、【月】.【日】はそれぞれでプルダウン選択
		死亡月日	空欄可		
	先天異常の内容の表	該当項目のチェックを入れる	空欄可 複数選択可		複数選択可